

研究課題名	肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓術の有効性を規定する因子についての後方視的研究
研究の意義・目的	肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法は広く行われている治療法です。その有効性が、腫瘍の個数、大きさ、局在、造影剤での染まる程度、肝機能、治療内容、前治療や後治療によって、変わるかを調べます。これにより、より良い治療法の選択ができることを目的としています。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日～2027年12月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2007年1月1日～2025年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院で、肝細胞癌に対して肝動脈化学塞栓療法を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：性別、年齢、既往歴、全身状態(PS)、治療内容、合併症、治療後の転帰、追加治療の内容、血液検査データ、血管造影・CT・MRI画像
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院のみで行い、他の施設に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 研究責任者 影山 健
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 (担当者氏名) 浅野 数男 電話番号：(06)-6645-3831 メールアドレス：radiology@med.osaka-cu.ac.jp